

文化財 だより

NO.22
令和5年度

発行●太田市教育委員会 発行日●令和6年11月30日 編集●太田市教育委員会文化財課（群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080）



◀本殿
保存修理工事前



▼本殿
保存修理工事後

世良田東照宮

本殿の保存修理工事完了!!

唐門・拝殿は令和8年度完了予定

令和3年度から実施している世良田東照宮の保存修理工事ですが、令和5年度には「本殿」が完了しました。

唐門・拝殿の保存修理工事は、令和8年度完了予定です。
(次のページへ続く)



ほん でん から もん はい でん

東照宮本殿・唐門・拝殿の修復事業

世良田東照宮は、江戸幕府3代将軍徳川家光が、栃木県の日光東照宮の大改築を行った際、旧奥社の拝殿や唐門、宝物などを世良田に移した神社です。今ある、本殿・唐門・拝殿と鉄燈籠は、国の重要文化財に指定されています。

修理事業が完成した際には是非、東照宮へお出かけください。



東照宮唐門の修理状況



東照宮本殿の塗装工事



修理前の彩色



修理後の彩色



虹梁の龍の置上



虹梁の龍の金箔押し

本殿を彩っている塗装の一つは「彩色^{さいしき}」です。彩色は、青、緑、赤、黄土色などの色彩が豊かに着色されたところです。彩色は、顔料と呼ばれる「粉」を使っています。顔料には岩石、土、貝殻を原料とするものや、朱色などのように古くから人工的に作られたものもあります。顔料は「粉」なので、それだけでは塗ることができません。

木部を「粉」である顔料で彩色するためには、「糊^{のり}」の役目を果たすものが必要で、それが「膠^{にかわ}」になります。「膠」を溶かした溶液に顔料を入れて木部に塗ることができます。

本殿の彩色工事は「外部の塗り直し」になります。彩色技法には平彩色、彫刻彩色、置上彩色^{おきあげ}があります。本殿の虹梁の龍の金箔押しは、置上彩色^{おきあげ}になります。

置上彩色は重ね塗りして蒲鉾状に盛り上げ、盛り上げたところで膠に金箔を押し、彩色しました。



説明板等改修事業

太田市では、市民の方や太田市を訪れた方に広く歴史を知ってもらえるよう、市内史跡や文化財等に説明板や案内板を設置しています。中には設置から長い年月が経ち、老朽化し読みにくくなってしまったものがみられます。

文化財課では令和4年度より、計画的に説明板等の改修事業を行っています。令和5年度は全9件の改修を行いました。新田荘遺跡の案内板には各史跡のホームページにアクセスできる二次元バーコードを掲載するなど、利便性の向上も図っています。



浄光寺の五輪塔（改修後）

令和5年度改修箇所		
新田荘遺跡案内板 (新田荘歴史資料館)	新田荘遺跡案内板 (生品神社)	新田荘遺跡案内板 (円福寺)
浄光寺の五輪塔 説明板	東長岡神明宮のお田植祭 説明板	新井八幡宮の獅子舞 説明板
菅原神社の絵馬 説明板	正法寺聖観音像 説明板	藤生家のソテツ 説明板



生品神社（改修前）



生品神社（改修後）



菅原神社の絵馬（改修前）



菅原神社の絵馬（改修後）



で まえ こう こ がく きょうしつ

出前考古学教室

文化財課では毎年、市内の小・中学校を対象に地域の歴史・文化を学んでもらう機会として、出前考古学教室を実施しています。学校に出張して講座等を行い、児童・生徒のみなさんに歴史を身近に感じてもらうことを目的としています。令和5年度はぐんま国際アカデミー中等部からご要望をいただき、実施することができました。

- と き 令和5年12月8日（金）
- ところ ぐんま国際アカデミー中高等部
- 見学者 中等部1年生 生徒82名

中等部1年生における社会科の授業の一環として、「考古学とはどのような学問か」をテーマに講座を行いました。

講座では、実際の発掘調査の様子を写した写真や、太田市内で出土した土器などを題材に、考古学という学問や、考古学を通してみた太田についてお話ししました。

ワークシートを使ったグループワークでは、考古資料と現代のモノとの関係や、土層の堆積と出土時期の推定、弥生時代から古墳時代における太田市での変化など、様々な問題を解いていきました。生徒のみなさん自身が考古学の手法を使って、古代の太田市の様子に迫っていきました。



講座の様子



講座で使ったワークシート



ふすま

しょうじ

旧中島家住宅（襖のレプリカ設置と障子の張り替え）

旧中島家住宅は中島飛行機株式会社の創設者・中島知久平が昭和5年に両親のために築いた大規模邸宅です。

旧中島家住宅の外観は和風建築様式ですが、建物の中に入るとシャンデリアがあり、洋風建築を用いたデザインで構成されています。

建築のデザイン・構造・素材において学術的価値が高く、群馬県に残された近代和風建築を代表する建造物として極めて重要なものであることから、平成21年に太田市の重要文化財に指定されたのち、平成28年には国の重要文化財に指定されました。

しかしながら、竣工から長い年月が経ったことに加え、平成の時代に10年ほど空き家だったこともあり、建具や表具の傷みが顕著になってきました。

そこで、建物南側の客室部、東側の居間部及び北側の食堂部の障子の張り替えと今後の客室部襖の修繕を見据え、襖は別の場所にて保管し、代わりに襖のレプリカを作成、客室部に新たに設置しました。



襖オリジナル



障子張り替え前



障子張り替え後



襖レプリカ



史跡環境整備

文化財課では、市内の史跡等の環境整備として草刈を実施しており、環境整備箇所は小さい所を含めて23箇所となります。

夏場は暑さにより雑草の伸びが早く、管理に時間と手間が掛かりますが、皆様に綺麗な状態で史跡を見学していただけるよう8人の史跡環境整備作業員が日々環境維持に努めています。



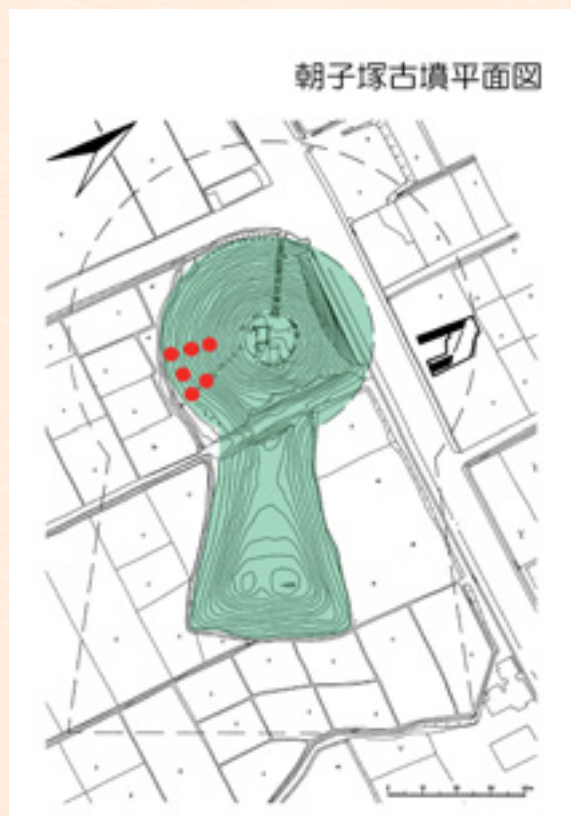
作業の様子

その他史跡管理（樹木伐採等）

太田市牛沢町にある朝子塚古墳^{ちようしづか}の桜が、特定外来生物のクビアカツヤカミキリにより、甚大な被害を受けました。このような状況から、倒木による人的被害を防ぐために、令和5年度に6本の桜を伐採しました。



クビアカツヤカミキリの被害を受けた桜



●=伐採した木



史跡金山城跡 ボランティア活動の取り組み

史跡金山城跡（太田市金山町）では、ボランティア組織の「金山城保存会」や「金山松・竹を愛する会」「金竹連」が下草刈りや放置竹林の整備などに取り組んでいます。

「金山城保存会」は、4月下旬と12月中旬に花と緑の課・観光交流課・文化財課の合同清掃に参加いただいています。また、11月には松田猛氏を講師に招き講演会を開催するなど、普及・啓発活動にも取り組んでいます。



合同清掃の様子

「金山松・竹を愛する会」では、放置竹林の整備で伐採した竹を利用し竹炭や竹酢を製作しています。（製作した竹炭と竹酢は土・日曜日に史跡金山城跡ガイダンス施設にて数量限定で無料配布を行っています。）

「金竹連」では、放置竹林の整備で伐採した竹を利用した『竹あかり』を製作しています。『竹あかり』は史跡金山城跡ガイダンス施設を含む市内各所でのイベントの際などに展示を行っています。



金山松・竹を愛する会による作業の様子



金竹連による竹林整備の様子

資料整理事業

史跡の保存修理や発掘調査の結果について広く公開するために、報告書を編集・刊行しています。今年度は天神山古墳周辺の発掘調査によって出土した遺物の基礎整理事業を実施しました。



整理事業風景



ふじくらすみよしせき

藤久良住吉遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市藤阿久町地内
- 調査期間 令和5年6月1日から30日
- 調査面積 約120㎡

建売分譲の道路建設に伴い発掘調査を実施しました。調査は南・中央・北の3区画行いました。その結果、南調査区では飛鳥時代の竪穴建物跡1軒、平安時代の竪穴建物跡2軒、古墳時代の溝1条、平安時代以降の溝1条、中世の土坑1基、時期不明のピット9基が確認され、古墳時代や平安時代の土器片が出土しました。中央調査区では古墳時代の溝が1条、近世以降及び時期不明の土坑が各1基、時期不明のピットが12基確認され、円筒埴輪片が出土しました。北調査区では、古墳時代の溝1条、近世以降の溝2条が確認され埴輪片及び近世以降のかわらけが各1点出土しました。調査地付近は蛇川の右岸にあたり、台地や川辺を利用して墓群や集落を形成していたことが分かりました。



南調査区（東から）



中央調査区（北から）



北調査区（東から）



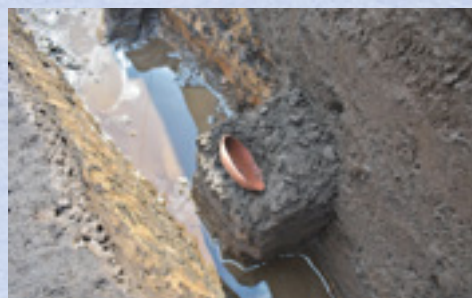
竪穴建物跡の遺物（北から）



古墳時代の甕（南西から）



埴輪片（北から）



近世のかわらけ（南東から）



とり やま てら なか い せき

鳥山寺中遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市鳥山上町地内
- 調査期間 令和5年11月1日から12月12日
- 調査面積 約240㎡

建売分譲の道路建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代後期の竪穴建物跡1軒、平安時代以降の溝1条、平安時代末～中世の溝3条、近世の溝2条、古墳時代後期の土坑1基、中世の土坑1基、近世の土坑3基、時期不明の柵状遺構1ヶ所、ピット18基が確認されました。溝6条のうち5条は区画溝と考えられます。区画溝は、調査区東側に現存する西慶寺の領域を示したものか、あるいは西慶寺に縁のある鳥山氏の居館に関する遺構の可能性も考えられます。出土遺物には、土師器、須恵器、陶磁器、石製品及び金属製品などがあります。その中でも今回は「穿孔貝窠穴痕跡軟質泥岩」と称される遺物が出土しました。この泥岩には塩が含まれており、古墳時代後期、この地域に塩の流通があったことが分かりました。



調査区俯瞰（北西から）



調査区（南上空から）



作業状況（南から）



耳環（北から）



古墳時代の甕片（南から）



古墳時代の坏（南西から）



穿孔貝窠穴痕跡軟質泥岩



きた じゅく い せき かみ え だ じょうやかた あと

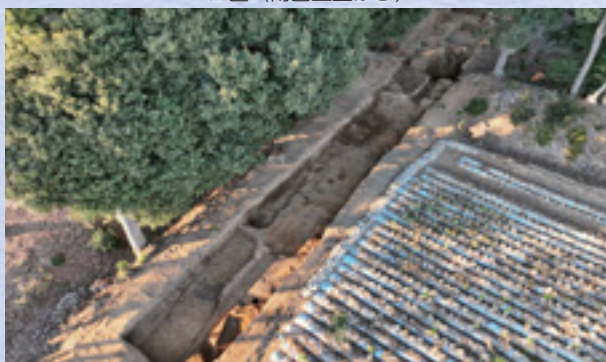
北宿遺跡、上江田城館跡（公共開発）

- 調査場所 太田市新田上江田町地内
- 調査期間 令和5年11月30日から6年2月2日
- 調査面積 約270㎡

市道改良工事に伴い発掘調査を実施しました。調査地は国史跡江田館を含む上江田城館跡内にあった毛呂屋敷と柿沼屋敷の境界部分にあたります。調査はA・B・Cの3区に分けて行われました。その結果、A区では古墳時代中期の竪穴建物跡1軒、縄文時代中期の土坑1基、中世の堀跡1条、溝1条、井戸1基が、B区では古墳時代中期の竪穴建物跡1軒、中世の竪穴建物跡1軒、中世の掘立柱建物跡2棟、中世の堀跡1条、溝1条、縄文時代の土坑1基、中世の土坑6基、近代の土坑1基、縄文、古墳時代、中世のピット44基、中世の土塁3ヶ所、中世の土橋・虎口1条、城道・土橋1条が、C区では中世の堀跡1条、中世～近代の堀跡1条、中世の溝1条、近代の溝2条、近世の井戸1基、中世の土坑1基、中・近世のピット13基が確認されました。また、縄文時代の深鉢片、古墳時代の甕や高坏などの土師器や石製品、中世の土器片、陶器片、近世・近代の陶磁器片、堰構築材などの遺物が出土しました。今回の調査によりこの地域には、古墳時代中期に大型竪穴建物を伴う拠点集落が在ったことが分かりました。さらに、中世の柿沼屋敷の堀跡や推定馬出虎口など城郭構造の一部が明らかになり、堀については近代以降も水路や排水路として使用されていたことも分かりました。



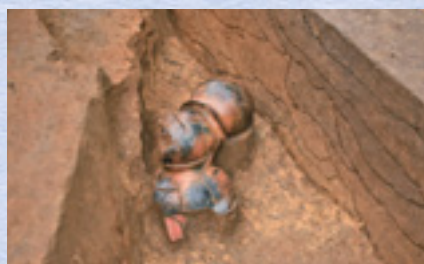
A区（南西上空から）



B区（南東上空から）



C区（南上空から）



古墳時代の甕（南から）



古墳時代の坏、高坏（南から）



寛永通宝（東から）



堰構築材（北東から）



きた の しょう い せき

北之庄遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市由良町地内
- 調査期間 令和5年10月17日から11月13日
- 調査面積 約114㎡

集合住宅建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、竪穴建物跡3軒・溝5条・土坑1基が確認されました。

竪穴建物跡は、6世紀前半頃から7世紀前半頃のもの3軒重なり合うように造られていました。さらにその建物跡を壊すかたちで、溝5条が造られており、少なくとも7世紀前半以降に、土地利用の変化を読み取ることができました。

5条の溝のうち、新しいものでは江戸時代頃の土器片が出土していること、いくつかは水流があった痕跡があることから、溝は水路として長期利用されていたものと思われます。



調査区全景（南東から）



竪穴建物跡から出土した白玉



重なり合う溝とその土層断面（東から）

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。令和5年度は駒形神社埴輪窯跡、世良田館跡、令和4年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。そして、令和4年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた「太田市内遺跡19」を刊行しました。



太田市内遺跡19



整理作業風景



**開発に係る調整
令和5年度
事前照合・協議件数等**

	民間開発	公共事業	合 計
事前照合・協議	2411件	64件	2475件
93条届出（民間）／94条通知（公共）	734件	35件	769件
慎重工事	712件	9件	721件
確認・試掘調査	48件	6件	54件
立会調査	11件	24件	35件
本発掘調査	3件	1件	4件
学術調査	—	0件	0件
確認・試掘調査面積	5,187㎡	238㎡	5,425㎡
本発掘調査面積	474㎡	240㎡	714㎡
学術調査面積	—	0㎡	0㎡

令和5年度 確認調査一覧表

No.	遺 跡 名	所 在 地	調査期間	開発原因
1	市野井新田遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート	新田市野井町	R5.4	民間
2	中原下遺跡	藪塚町	R5.4	民間
3	中原下遺跡	藪塚町	R5.4	民間
4	小角田前遺跡	世良田町	R5.4	民間
5	菅塩西山古墳群	菅塩町	R5.4	市
6	萩原案跡、萩原館跡、萩原遺跡	吉沢町	R5.4	民間
7	長福寺遺跡	下田島町	R5.5	市
8	堀廻遺跡	新田小金井町	R5.5	民間
9	推定東山道駅路（武蔵路）	下浜田町	R5.5	民間
10	FP泥流下遺跡群	尾島町	R5.5	民間
11	推定東山道駅路下新田ルート	新田小金井町	R5.5	民間
12	五領遺跡	新田上田中町	R5.5	市
13	畑中遺跡	強戸町	R5.5	民間
14	西野西遺跡	藪塚町	R5.5	民間
15	浜町遺跡	本町	R5.6	市
16	新ヶ谷戸遺跡	西矢島町	R5.6	民間
17	湯ノ入前遺跡、岩崎遺跡	藪塚町	R5.6,7	民間
18	宮西遺跡	東矢島町	R5.7	民間
19	中溝Ⅱ遺跡	新田小金井町	R5.7	民間
20	寺裏遺跡、鳥山寺中遺跡	鳥山上町	R5.7	民間
21	新井古墳群	新井町	R5.8	民間
22	石神遺跡	龍舞町	R5.8	民間
23	北之庄遺跡	由良町	R5.8	民間
24	細谷東遺跡	細谷町	R5.8	民間
25	北宿遺跡、上江田城館跡	新田上江田町	R5.9	市
26	丸山古墳群	丸山町	R5.9	民間

No.	遺 跡 名	所 在 地	調査期間	開発原因
27	丸山古墳群	丸山町	R5.9	民間
28	丸山古墳群	丸山町	R5.9	民間
29	丸山古墳群	丸山町	R5.9	民間
30	中村田遺跡	新田村田町	R5.10	民間
31	細田遺跡、焼山遺跡、焼山古墳群	安良岡町	R5.10	民間
32	業平塚古墳群	成塚町	R5.10	民間
33	寺井廃寺	天良町	R5.10	民間
34	市場古墳群	市場町	R5.10	民間
35	古氷条里制水田跡	緑町	R5.11	県
36	鳥山寺中遺跡	鳥山上町	R5.11	民間
37	上遺跡	鳥山上町	R5.11	民間
38	向矢部遺跡、矢部城跡	富若町	R5.12	民間
39	細谷東遺跡	細谷町	R5.12	民間
40	下田島遺跡	下田島町	R5.12	民間
41	FP泥流下遺跡群	備前島町	R6.1	民間
42	反町城館跡	新田反町町	R6.1	民間
43	西野東中遺跡	藪塚町	R6.1	民間
44	東矢島古墳群	末広町	R6.1	民間
45	延享割遺跡	泉町	R6.1	民間
46	中道西遺跡	藤阿久町	R6.2	民間
47	東部地区遺跡群	阿久津町、岩松町	R6.2	民間
48	天良七堂遺跡	天良町	R6.2	民間
49	舞台A・D遺跡	西本町	R6.3	民間
50	中原上遺跡	藪塚町	R6.3	民間
51	中溝遺跡	新田小金井町	R6.3	民間
52	小角田古墳群	小角田町	R6.3	民間
53	反町城館跡	新田反町町	R6.3	民間
54	下田島遺跡	下田島町	R6.3	民間



新田莊歴史資料館

太田市世良田町3113-9 ☎0276-52-2215 開館時間／9時30分から17時 ㊤／月曜日

「徳川家と太田市展」

●と き 令和5年7月29日（土）から10月29日（日）

●入館者 4,737人

新田義重は、仁安3年（1168）に世良田郷などの開拓の地を四男義季に譲りました。新田義季は上野国新田莊得川（徳川）郷を領有し、徳川義季と名乗りました。これが徳川氏発祥の始まりと言われてい

ます。
その後、義季の子孫である親氏は、父有親とともに、三河松平郷（愛知県豊田市）に住んで松平を称し、松平親氏と名乗ったと伝えられています。親氏の子孫と称した松平家康は、後に再び徳川氏を名乗るようになります。

江戸時代には、新田徳川氏を先祖とする徳川家康は、徳川の地を庇護し、荒廃していた長楽寺を先祖の建てた寺として100石を寄進し、天海大僧正に復興を命じます。

今回の展示では、長楽寺に伝わる徳川関係資料の中から、資料館の収蔵品を中心に公開し、展示資料を通して、中近世の歴史と文化の一端に触れることを目的といたしました。



チラシ・ポスター



展示の様子



「徳川家と太田市」展示の様子

ゴールデンウィーク・夏休み企画「ストラップ作り」

●と き 令和5年5月3・4・5・6・7日

●参加者 32人

●と き 学校の夏休み期間中の8月の土・日・休日に実施
(9日間)

●参加者 364人

透明プラスチック板を使い、オリジナルのイラストを写し取り、ストラップを作りました。



ストラップ作成の様子

正月特別無料開館

●と き 令和6年1月2・3日(火・水)

●入館者 1,707人

長楽寺・世良田東照宮の正月初詣にあわせて、正月特別開館を実施しました。

普段なかなか資料館に見学に来られない方々にも見学して頂きました。

正月特別開館の様子▶





縁切寺 満徳寺 資料館

太田市徳川町385-1 ☎0276-52-2276 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日

い そ め つ な は せ が わ み よ う て い

特別展「居初津奈と長谷川妙躰」

●と き 令和5年11月18日（土）から令和6年1月21日（日）

●入館者 1,679人



特別展のチラシ



展示の様子「津奈と妙躰の直筆本」



講演会の様子（講師：小泉 吉永氏）

令和5年度は「居初津奈と長谷川妙躰」と題して実施しました。

居初津奈と長谷川妙躰は女筆手本の作者であり、江戸前・中期に数多くの出版物を著した女性ですが、今回は書画の両面で秀でた津奈と独特な散らし書きで女性達を魅了した妙躰の直筆本と刊本を一堂に集めて、文化の中心「京都」から2人がどんなメッセージを発信し、後世にいかなる影響を及ぼしたかを見ていきました。

高山彦九郎記念館

太田市細谷町1324-7 ☎0276-32-5632 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日

高山彦九郎は、上野国新田郡細谷村（現太田市細谷町）で生まれた江戸時代中期の勤王思想家で、後世の明治維新を導いた幕末の志士たちに大きな影響を与えた人物です。高山彦九郎記念館は、高山彦九郎を再評価し、その人物像を広く知っていただくため、平成8年5月に国指定史跡高山彦九郎宅跡附遺髪塚の隣接地に開館致しました。

また、2階企画展示室で「太田市の原始・古代展」を開催しています。ぜひ一度お越し下さい。



大隅俊平美術館

太田市由良町3051 ☎0276-20-6855 開館時間／9時30分から17時 ㊟／月曜日

季節毎の展示



- 「春の刀剣展示」令和5年4月1日（土）から5月21日（日） 入館者 306人
- 「夏の刀剣展示」令和5年5月27日（土）から9月24日（日） 入館者 3,306人
- 第15回企画展「直刃の軌跡」令和5年9月30日（土）から令和6年1月21日（日） 入館者 451人
- 「春の刀剣展示」令和6年1月27日（土）から3月31日（日） 入館者 396人

年中行事

七夕飾り

- と き 令和5年6月24日（土）から7月9日（日）
- 参加者 44人



重陽の節句

- と き 令和5年9月5日（火）から9月10日（日）
- 参加者 34人



ふいご祭り

- と き 令和5年12月3日（日）
- 参加者 23人



ひな飾り

- と き 令和6年2月20日（火）から3月10日（日）
- 参加者 173人





イベント・講座

アコーディオンの調べ

- と き 令和5年4月20日（木）
- 参加者 66人



花結び講座（ペンダント作り）

- と き 令和5年6月15日（木）から6月16日（金）
- 参加者 44人



大人が作る五寸釘のペーパーナイフ

- と き 令和5年10月8日（日）
- 参加者 23人（うち同伴者2人）



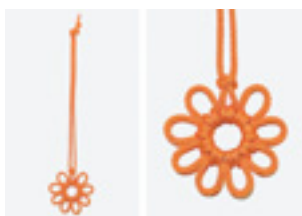
花結び講座（干支・辰）

- と き 令和5年11月9日（木）から11月10日（金）
- 参加者 40人



花結び講座（花のストラップ作り）

- と き 令和6年2月15日（木）から2月16日（金）
- 参加者 51人（うち同伴者3人）



銘切実演

- と き 令和5年5月5日（金）
- 参加者 53人（うち同伴者32人）



五寸釘でペーパーナイフ作り

- と き 令和5年8月6日（日）
- 参加者 47人（うち同伴者25人）



作刀工程実演「火造り」

- と き 令和5年10月22日（日）
- 参加者 67人



王朝装束着装実演

- と き 令和6年1月21日（日）
- 参加者 34人



作刀実演「下鍛え」

- と き 令和6年3月3日（日）
- 参加者 127人





史跡金山城跡ガイダンス施設

太田市金山町40-30 ☎0276-25-1067 開館時間／9時から17時 ㊿／月曜日

ギャラリー展示（企画展）

企画展名	実施期間	入館者
「金山城の虎口を探る。」	R5.4.29から7.30	7,013人
「絵図で見る太田金山」	R5.8.11から10.22	6,937人
「おおたの行楽地」	R5.11.11からR6.1.8	4,188人
「青森ねぶた2023出陣『新田義貞伝説 龍神に太刀を捧ぐ』」	R5.10.3から12.28	6,834人



企画展ポスター



青森ねぶた下絵



教室

教室名	実施日	回数	講師	受講者
日本茶の美味しい入れ方	令和5年5月26日(金)	1回	齋藤 一郎氏	25名
つまみ細工 「浴衣に似合う飾り」	令和5年6月29日(木)	1回	栗原千鶴子氏	11名
草木染教室 「トートバッグを藍で染める」	令和5年7月14日(金) 令和5年7月15日(土)	4回 (午前2回・午後2回)	松尾紀美子氏	48名
草木染教室「藍の生葉で空の色を染める」	令和5年8月18日(金)	2回 (午前1回・午後1回)	松尾紀美子氏	24名
金山城の竹であかりを作ろう	令和5年12月9日(土)	2回 (午前1回・午後1回)	文化財課職員 金竹連	24名
古代鏡をつくってみよう	令和6年2月25日(日)	8回 (午前4回・午後4回)	文化財課職員	23名



日本茶の美味しい入れ方教室



つまみ細工教室



トートバッグの藍染め



藍の生葉で空の色を染める



金山城の竹であかりを作ろう



古代鏡をつくってみよう

オリジナルグッズ

施設では、金山城に関連するオリジナルグッズを有償頒布しております。来館・登城記念に大好評です（郵送対応はしておりません。直接ご来館の上購入してください。）





秋の小祭り 史跡金山城跡ガイダンス施設

令和5年11月12日（日）地域住民が太田市の歴史や自然に親しみ、交流を広げることを目的とする秋の小祭りが行われました。



金山二ノ丸竹林整備ボランティア団体「金竹連」による竹あかりの展示



和太鼓三日月による演奏



金山の木の实を使った工作



市役所音楽部によるバンド演奏



勾玉作り工作教室